

# 筑波海軍航空隊

戦争の歴史を後世に



笠間市旭町地内には、1934年（昭和9年）から太平洋戦争終戦までの11年間、「筑波海軍航空隊」が設置されました。現在も司令部庁舎や正門、号令台などがほぼ当時のままの状態に残されており、この度、百田尚樹ひゃくた なおきさんのベストセラー小説『永遠の0』の主人公が同航空隊の教官に設定され、映画ロケ地として使用されました。今月号は、筑波海軍航空隊についてお知らせします。

## ― 設立 ―

昭和9年、霞ヶ浦海軍航空隊の陸上班の一部を旧友部町に移し、初等教育班として搭乗員の養成にあたる分遣隊が設置されました。ここでは、一般兵から採用された操縦練習生が、赤トンボといわれた93式陸上中間練習機で飛行訓練を行っていました。昭和12年7月、日中戦争が始まると航空機の重要性が高まり、友部分遣隊は独立して「筑波海軍航空隊」となりました。

## ― 戦争突入へ ―

太平洋戦争が昭和16年に開戦となると、予科練出身の練習生が多く入隊するようになり、訓練も急降下や

旋回等の実戦を意識した激しいものになっていきました。昭和19年になると、戦闘機課程の練習航空隊となり、特攻隊も編成されました。25名の隊員が比島（現在のフィリピン）第201航空隊に転出し、神風特攻隊金剛隊として出撃し、13名が戦死しました。神風特攻隊筑波隊が昭和20年に64名（のちに84名）で編成されると、練習戦闘機と零戦を使用した特攻訓練が実施され、訓練を終了した搭乗員は特攻要員として沖縄戦に参戦しました。以後、筑波海軍航空隊は実戦部隊となり、多くの若者が特攻で亡くなりました。

## ― 終戦へ ―

昭和20年4月には、アメリカ軍の沖縄攻撃が本格化しました。沖縄本島中部西海岸には千五百隻の艦艇が押し寄せ、上陸作戦を開始しました。日本軍は鹿屋かのやや知覧ちらんなどの九州基地から特攻隊が出撃し、必死に抵抗しました。しかし、同年5月には首里の日本軍司令部が陥落。戦闘は南部に移り、多くの住民を巻き込んでな お続きました。そして、6月23日、日本軍司令官牛島満中将うしじま みつるが自決し、7月2日にアメリカ軍は、沖縄戦の終了を宣言しました。

# 筑波海軍航空隊を語り継ぐ

わずか11年間で約千五百人が飛行訓練を受けた筑波海軍航空隊では、当時、多くの若者が修練に励み、大空へと出撃していきました。私たちは、この笠間市内に海軍施設があった事実を忘れず、戦争を繰り返さないためにも歴史を伝えていかなければなりません。

## 想いを刻む

「生き残った人には、戦死した仲間の慰霊と戦争の真実を伝える義務がある」と当時を知る方々から記念碑やモニュメントなどの建立や、資料情報等の提供をいただいています。

### 「筑波海軍航空隊記念碑」

平成11年6月には、戦死した仲間の慰霊と戦争の真実を伝えていくために、関係者有志により「筑波海軍航空隊記念碑」が建立されています。



筑波海軍航空隊記念碑

彫刻家 流政之さん

1923年長崎生まれ

作品名：かえり雲

材質：みかげ石

高さ1165mm×幅668mm×

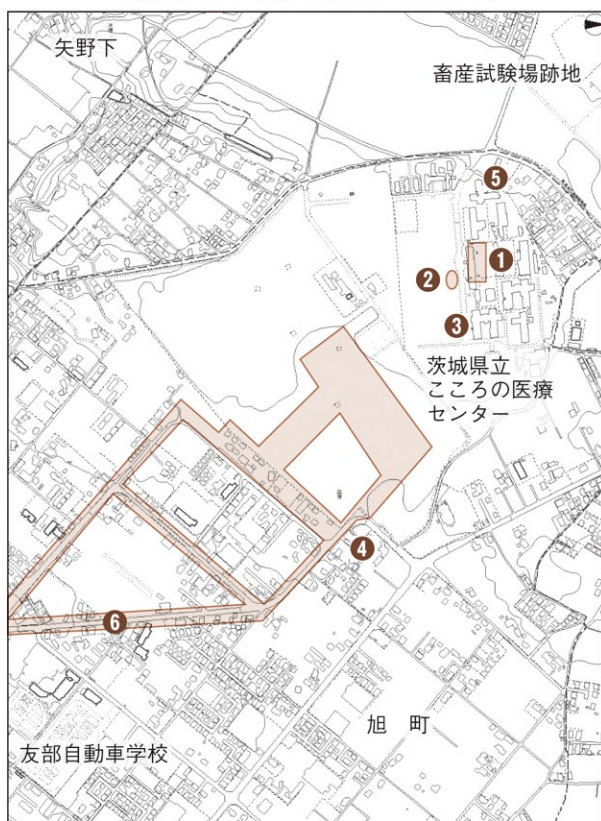
奥行648mm



### 「かえり雲」

当時、隊員の一人だった流政之さん(彫刻家)から作品「かえり雲」が寄贈され、今年11月23日(土)に除幕式が行われました。流さんは1945年に筑波海軍航空隊で終戦を迎え、その後、彫刻の道に入り、1975年ニューヨークの世界貿易センターに巨大彫刻「雲の砦」が設置されるなど(2001年9月のテロによる建物破壊後、救命活動のため役目を終える)多くの作品を作成しています。

## 筑波海軍航空隊跡現況図



- ①司令部庁舎 ②号令台 ③かえり雲(彫刻家 流政之氏作) ④筑波海軍航空隊記念碑 ⑤航空隊正門
- ⑥滑走路跡

## 映画『永遠の0』ゆかりの地 期間限定公開

筑波海軍航空隊プロジェクト実行委員会始動

茨城県遺族連合会やプロジェクト茨城を中心に、12月21日の映画公開に合わせて、司令部庁舎を記念館として一般公開します。当時の貴重な資料等の展示やロケ地再現セット等を公開。講演会、朗読会等も予定されています。

期間/12月20日(金)～平成26年5月頃  
午前9時～午後5時(入館は午後4時まで)

会場/茨城県立こころの医療センター敷地内  
(笠間市旭町654)

入館料/大人500円 小学生～高校生350円 未就学児無料  
障害者手帳をお持ちの方、20名以上の団体 50円引き

※幅広い年代の方に筑波海軍航空隊を伝えていくためにイメージキャラクターとロゴマークを作成しました。



### ◀ロゴマーク

元隊員の方々から基地の思い出でもある「桜」を中心に、笠間市の鳥である「うぐいす」を使用しています。

筑波海軍航空隊記念館 案内人 友部 空くん▶  
「はじめまして。ぼくは現存する史跡の文化的価値と、筑波海軍航空隊の記憶を伝えるために生まれました」



【問合せ】プロジェクト茨城 TEL0296-71-7566